

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立御休小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 709-0603
岡山市東区西祖179

E-mail miyasus@city-okayama.ed.jp
Website _____

幼児児童生徒数 男子 76名 女子 56名 合計 132名
幼児・児童・生徒の年齢 歳～ 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「地域とつながるみやすっ子プロジェクト」をテーマのもと、①「食と環境プロジェクト」、②「地域の歴史・文化プロジェクト」、③「ふれあいプロジェクト」の3つのプロジェクトを立ち上げ、地域について知り、地域の良さを実感し、地域に誇りをもてるようにする学習活動を行った。

① 食と環境プロジェクト

5年生「稲を育てよう」では、6月に食農体験事業の講師の方の指導と協力のもと、田植えを行った。泥の中を歩くのに四苦八苦しながら印に沿ってリズムよく植えることができた。10月には稲刈りを行った。稲を束ねるのに苦勞をしていたが、コツを教えてもらいながら取り組み、米を作る大変さを感じることができた。「御休の水を守ろう」では、川や用水路の水質検査や水が汚染されて起こる問題を調べる活動を通して水の大切さを感じ、水質を守る工夫について考えたり、水質を守ろうと呼びかける取組をしたりすることができた。

② 地域の歴史・文化プロジェクト

6年生「御休歴史探検隊」では、学区にある浦間茶臼山古墳、吉井の水門、宇喜多直家生母の墓、福岡神社などの歴史遺産を自分たちの足で歩いて見学し、地域の方に尋ねたりインターネットや書籍でより詳しく調べたりすることにした。調べたことをグループでパネルにまとめ、毎年地域で行われる祭り「御休の集い」の場で、多くの地域住民の前で発表した。自分たちも地域を大切にしていきたいという思いを伝えることができた。

③ ふれあいプロジェクト

4年「ともに生きる」では、図書館での調べ学習で点字や手話、福祉などに興味をもち、高齢者体験に取り組むことができた。視界がぼやけるゴーグルや聞こえづらくなるヘッドフォンなど、たくさんの器具を付けて歩行体験をした。児童は歩くだけでも大変だということを実感し、高齢者の方の思いを学ぶことができた。この体験から、障害のある人の思いを意識し、相手を尊重して行動していこうとする気持ちが芽生えてきた。高齢者介護施設訪問では、リコーダー演奏をしたり、絵本の読み聞かせや肩たたきなどをしてしたりして触れ合うことができた。



① の写真（稲を育てよう）



① の写真（御休の水を守ろう）



② の写真（御休歴史探検隊）



③ の写真（ともに生きる）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他 (地域の良いところ 学校間交流)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他 (自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他 (自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

宇喜多直家 浦間茶臼山古墳 箸墓古墳 福岡神社 吉井の水門 津田永忠

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

ESDの視点に立った体験的な学習活動の充実をめざすように心掛ける。地域交流活動を通して、自然・人・文化財とふれあうことで、地域の良さを実感し、地域に誇りをもてるようにする。地域の方に幅広く協力を呼びかけることで、児童が活動できる場の設定をする。今年度は、総合的な学習の時間や生活科の内容を見直し、より探求的な学習を組むように試みた。また、大牟田市立平原小学校との学校間交流を続けることで、相手を意識しながら発信したり、他地域への理解を広げたりする。さらに、家庭と連携して、ボランティア活動への参加を呼び掛ける。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年度初めには、前年度のESDの活動報告書を職員に配布し、どのような活動をもつのか見通しをもって取り組めるようにしている。総合的な学習の時間の計画の一環として、活動をもつ時期、ゲストティーチャーや施設の連絡先などを一覧表にまとめ、すみやかに学習に入れるようにした。地域交流活動に参加して下さる地域の方が高齢になりつつあるので、若い方にも幅広く交流を呼びかけた。学校のホームページでも活動について紹介するようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

児童は、資料を調べたり地域の方へ取材したりすることで、今まで知らなかった多くのことを学んでいる。また、その内容を参観日や地域の祭りで、相手を意識して発信することにも意欲的に取り組んでいる。しかしさらに、児童が、地域について「こうなればいいのに」「こうしていきたい」と感じたことをそのままにせず、子どもなりの次の行動につなげていけたらと考える。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

3年生は、「地域の良いところ」について調べ、グループ別に参観日に保護者に発表した。地域の良さについて子どもなりのお気に入りの場所があれば、地域の歴史にかかわる場所もあり、内容豊富だった。児童が、保護者に教えてあげるんだと相手を意識して発表できたのがよかった。6年生は、地域の歴史や史跡について調べたことをパネルにまとめ、地域の祭りで感想を加えて発表した。また、他県の学校にビデオレターを送り、学校間交流をもった。以前より地域への愛着を深めることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

「食と環境プロジェクト」「地域の歴史・文化プロジェクト」「ふれあいプロジェクト」の3つのプロジェクトは互いに関連しているため、ESDに関する校内研修の時間を取り、学年間で関連を意識して取り組んでいくようにする。それぞれのプロジェクトの中で、子どもたちが学んだことが、次のアクションにつながるような場の設定を工夫していく。また、限られた学習時間の中で、より深くESDに取り組むために、内容を精選していくことも必要だと考えている。